



園だより

令和3年8月発行

幼保連携型認定こども園

合志こども園 園長 松岡 貴子

みんなで、『命を守る』行動を考えましょう

今年の夏休みも、「がまん」の夏でした。おじいちゃん、おばあちゃんにもなかなか会えなかったり、家族で旅行に行けなかったり。マスク生活が当たり前になる中、子ども達は自分でできる予防対策に取り組んでいます。「今、マスクが必要」「このときの消毒はこれです」等一緒に考え【何が必要なのか、判断できる力】を育てています。

感染症対策に限らず、毎月の避難訓練では「対応力」を育てていくことを目標に取り組んでいます。近年自然現象による災害も多く、沢山の大切な命が奪われています。【この時どんな行動が一番いいのか】状況に応じた判断をすることで、自分や大切な人を守ることができます。大切な園関係者を守るため、【基本は何か】【当たり前を丁寧に】取り組み行政指導とともに取り組んでまいりますので、ご家庭でも、もう一度基本行動を再確認し、ともに『命を守る行動』に取り組みましょう。

〇こども園のなつやすみ

合志こども園は、「幼保連携型認定こども園」として平成27年に認可を得て、今年7年目を迎えました。

幼保連携型と言うのは、「幼稚園機能を利用して入園する方：1号認定」と「保育が必要で就労を基本に市からの認定をもらって入園する方：2・3号認定」がこども園を利用されています。

よって1号認定児が在籍することで、保育園とは違い【夏休み】があります。

こども園の夏休み以上児さんは、「異年齢児保育：合同保育」を行っています。人数によって活動（水遊び・運動遊び等）を分けたり、協力し合って遊んだり、生活を共にすることで【助け合い】【思いやり】を経験し、心情の成長も大切にしながら過ごします。3歳児にはお兄さん、お姉さんのようになりたいといつも以上にがんばる姿が見られ、4、5歳児はお手本になるにはどうすれば良いか？を考えながら過ごす様子が見られます。自分と違う存在を感じ、関係を築いていく努力をし、共に楽しさを味わう等「社会で過ごす」大切な経験です。

学園で大切にしている考え方『友だちの良いところを見つけ、自分の力を信じ、共に育つ！』を、これからも取り組んでいきます。色々な友だちに会える＜合志こども園＞です。

・ばんだ組「あさがお栽培」

毎日水やりに取り組み、色とりどりの朝顔が咲きました。種も沢山とれましたね。来年きりん組になって育てましょう。命の繋がりを体験します。



・うさぎ組 あさがお制作（染紙）

園庭に咲いた朝顔の花の様子を観察したり、花びらを触ってみたい。優しく触らないと破れてしまうことを知りました。その体験は、制作の時「そーっと」取り組む姿に生かされました。これからも、環境を生かした活動を大切にしていきます。

○行事予定 コロナ感染レベル・感染拡大防止による変更の可能性もあります

<9月>

<10月>

1日	誕生会【コロナ対応にて延期】	1日	ロアッソサッカー教室（体操服）
2日	Eday（4・5歳）【延期】 プログラミング活動【延期】	4日	Sday（体操服）
3日	ロアッソサッカー教室【中止】	5日	いちごくらぶ
6日	Sday【延期】	7日	Eday（4・5歳） プログラミング活動
7日	いちごくらぶ【中止】	11日	Sday（体操服） 芋ほり予定期間 ～14日（2～5歳）
9日	Eday（3・4・5歳）【延期】	14日	Eday（3・4・5歳）
10日	運動会予行【延期】	15日	未就園児事業 園開放
13日	Sday	16日	R4 年度入園説明会
14日	運動会予行（変更日程）	18日	Sday（体操服）
16日	Eday（4・5歳） プログラミング活動	19日	未就園児事業 園開放
20日	（祝）敬老の日	20日	内科健診
21日	ルーテル学院大学より実習【延期】	21日	Eday（4・5歳） プログラミング活動
23日	（祝）秋分の日	22日	いちごくらぶ
24日	運動会準備16時～ 準備の為、降園協力（18時完了）	23日	保護者会 イベント
25日	運動会（雨天順延）	25日	Sday（体操服）
26日	運動会予備日（25日順延）	26日	避難訓練
27日	運動会予備日（26日順延） 26日開催の場合、通常保育【弁当】 湖東カレッジ実習生1名 ～10/6	27日	誕生会
29日	避難訓練	28日	Eday：ハロウィン2～5歳
30日	Eday（2・3歳）	30日	以上児：活動参観

※運動会について

天候により、26日に運動会が開催された場合、順延日と設定している27日は通常保育となりますが、順延が不確定であるため、**27日は給食提供ではなく「弁当持参」**です。

★体をつかってあそぼう！ 「合同保育のひととき」

「あしじゃんけん」「どんじゃんけん」「まけじゃんけん。」
じゃんけんも体を使ってすることで、立派な運動になります。
どちらが勝ったのか判断する「即時反応力」を育てることもできます。
出す種類を考え、手指を使いこなす力も育ちます。

お家時間をつかってご家庭でも親子のふれあい遊びとして、
「色々なじゃんけん」を楽しんでみてはいかがでしょうか

